
第 16 回 教育サロン in 東海 アンケート集計報告書

教育サロン事務局

2014 年 6 月

目次




1. 教育サロン実施概要.....	1
2. アンケート集計結果.....	2
2.1. 満足度について.....	3
2.2. 実習「あなたの学習スタイル」「記者会見」について.....	4
2.3. 「松本 浩司氏の話題提供」について.....	5
2.4. 「話題提供をふまえたグループワーク（キューブ）」について.....	6
2.5. 「教育サロン」で聴いてみたい、話してみたいテーマなど.....	7

1. 教育サロン in 東海 実施概要

【実施日・ご参加者数】

- ◆実施日：2014年6月14日（土）
- ◆ご参加者 20名

【プログラム】

13:00	開会の挨拶 発起人 名城大学 人間学部 池田 輝政氏
13:10	実習「あなたの学習スタイル」「記者会見」
15:00	話題提供 【話題提供者】名古屋学院大学 経済学部 松本 浩司氏
	<p>【テーマ】 学びの背景やひとの学びの性質から、学生の「学び」の様子を探索する ひとの学びの性質や理論に触れながら、学生の「学び」の様子を探究したいと思います。その上で、感情や思考、モチベーションなどの雑多なものを授業に持ち込んでくる目の前の学生に対して、私自身の想いや挑戦していることなど、事例を含めてお話ししたいと思います。※質疑応答の時間もあります。</p> <p>【プロフィール】 福岡県生まれ・愛知県育ち。博士（教育学）、教授・学習開発学。名古屋大学大学院教育発達科学研究科教育科学専攻博士後期課程満期退学。愛知教育大学非常勤講師を経て2011年4月より名古屋学院大学経済学部に着任。</p>
15:50	話題提供をふまえてグループセッション、全体共有
	<p>話題提供を受けて、皆さんが学生と接する中（授業や学内）で体験された「〇〇してみたらこんな反応があった！」や「うまくいった！！」もしくは「あれっ！？なんで!？」という事実をざっくばらんに場に出していただければと思います。そのひとつひとつを、学生の視点に立って、皆さんで吟味してみましょ。そこから、各自の「教育」に関する思いの交流、学生の学びに対する悩みの交換、日ごろ言えない聴けない疑問など、いろいろな角度から議論を楽しんでください。持ち越しの議論は情報交換会で！</p>  
17:50	閉会の挨拶 （18:00終了予定）

2. アンケート集計結果

アンケートについては、以下のアンケートを実施しました。

アンケートご回答者数：20名

第16回 教育サロンin東海 学びの背景や性質に触れ考える「私たちにできる学びの支援とは??」アンケート				
本日は、ご参加ありがとうございました。今後のより良い「場創り」のため、アンケートにご協力ください。				
1. 本日の満足度について教えてください。 また、その理由についてお聞かせください。	とても満足した	満足した	どちらともいえない	あまり満足しなかった ぜんぜん満足しなかった
<input type="text"/>				
2. プログラム「学習スタイル、記者会見」などをご体験いただいて感じたことをご自由にお書きください。				
<input type="text"/>				
3. プログラム「松本浩司氏の話提供」について、感じたことをご自由にお書きください。				
<input type="text"/>				
4. プログラム「話題提供をふまえたグループワーク」について、感じたことをご自由にお書きください。				
<input type="text"/>				
5. 今後、教育サロンで聴いてみたい、話してみたいテーマはございますか？ もしありましたら、ご自由にお書きください。				
<input type="text"/>				
6. その他、ご自由にお書きください。				
<input type="text"/>				
貴学名 _____ ご氏名 _____				
ご協力ありがとうございました。今後ともいい「場創り」にご協力・ご支援をお願いいたします。 教育サロン事務局				

フリーコメントについては、皆さまにご記載いただいた内容をそのまま掲載しております。

また、フリーコメント中の「●●」は読み取りが出来なかった部分を表しております。

2.1. 満足度について

回答者数	とても満足した	満足した	どちらとも いえない	あまり 満足しなかった	ぜんぜん 満足しなかった
20名	10名	10名	0名	0名	0名

「とても満足した」回答群

教育学の立場から、教える側の考え方のベースになるべき知識が得られたこと。

普段の業務では触れられない先生方の考え方や熱い想いを聴くことができた。

様々な（新鮮な）意見を聞いて勉強になりました。普段は同世代の話聞く機会ばかりなので、特に感じました。

毎回よい勉強をさせていただき、感謝しています。

日ごろ、漠然と考えていたこと（体験、経験との統合など）が方向としては間違えていないことがわかって良かったです。お互いの事をよく知ることができ、打ちとけ合うことができてよかった。

異なる立場、領域の方々からご意見を伺うことが出来たので。

初中等教育で大切にしている教師像とその育成の授業観が改めて理解出来た。

毎回、新しいメンバーの方々とは初対面で教育について話せることが楽しみです。

色々な方々と交流できた。

頑張って話しました。

「満足した」回答群

様々な先生方とお話することができてよかった。2回目の参加でしたが、メンバーが変わったためか、新しい発見があった。

時間が短く感じた。お互いの事例などもっと情報交換できる時間があっても良いくらいだと思った。（が、実際はこれ以上長くなると集中力が途切れそう・・・）

話題提供・ワークショップ共に日頃をふりかえる機会となった。それぞれ苦労はあっても前向きに取り組もうとしていることがわかった。

教職員さんのお話も聞いて勉強になりました。楽しかったです。

個で学習する時代は終わり、集団で学習する時代が来たことを実感できた。学習の環境をデザインすることは難しいが、少しの道が見えたのも今回のサロンからであった。

全体的にサロンの内容に満足しております。自身の側にいろいろ考えないといけない課題が見つかり、未解決の課題を持ち帰ることになったということで、勝手に申し訳ございませんが4点（満足した）の評価とさせていただきます。

2回目の参加でしたが、今回も他の参加者の方々のお話を伺って、いろいろ勉強になりました。しかしここで得たことを具体的にどう生かしていけばよいかというところまで辿り着かず、少し消化不良です。

教育学の専門の方の話や実践事例が聴けてよかった。

教育学における、知識主義ではない授業をみることができた。

松本先生の講義の内容が常々、私の教えたいことと同じであったから。

2.2. プログラム「あなたの学習スタイル」「記者会見」について

「とても満足した」回答群
毎回形が変わるのが楽しみに思えてきた。記者会見は質問項目を考えるのが難しい。質問の難しさを感じる。
自己紹介をするうえでかなり有力なプログラムだと思った。（自然と情報が引き出された）
学習スタイルも記者会見も会を重ねるごとに「いつもと同じ」という違和感がなぜか消えてしまいました。これもありがと思います。
学校で使ってみたらどうだろう、という視点で観させていただきました。自己紹介以外にもつかえそうだなと思います。
学習スタイルの質問表の信頼性・妥当性がいくらか気になりました。測るたびに結果が違うとすると尺度として安定して安定していないのではないかと？
アイスブレイクの手法として考え方やスタイルの違い（と思われる）方達とすぐに話題を共有できてためになりました。
Do～Lookの軸はいつも強く出るが、今回はもっとDoに強くかつ（不思議なことに）Growにも強く出る兆しがあった。
学習スタイルシートは毎回記入しているけど、その都度変化があり新鮮です。貴社経験は大学の授業でも取り入れています。とてもいいアイスブレイクです。
おもしろかった。
今の仕事のスタイルに学習スタイルは影響を受けているようです。

「満足した」回答群
学習スタイルの評定がどの程度妥当性のあるものなのか、毎回疑問に思っています。あの質問項目はどのようにして選ばれているのでしょうか？
記者会見の自己紹介は分かりやすい。
何度も経験しているが、やるたびに新鮮です。
活発な会話ができて、打ち解けることが出来た。ただ、話が長くなりすぎて時間超過してしまいがちだったのは反省したい。
他者理解のためにはある程度の（その人に対しての）関心は持たなくてはならない。
その都度新鮮。心を開いて興味を持って聴くことの大切さを思い返した。
「学習スタイル」もう少し考えていくと今の自分がもっと見えてくるような気がした。
「記者会見」は本学の入学前セミナーで使わせてもらってます。
学習スタイルは前回と全く異なった結果となり単純に面白かった。記者会見のおかげで次のグループワークがやりやすくなったと思う。



2.3. 「松本浩司氏の話提供」について

「とても満足した」回答群
教師を育てる立場からの話は、我々「教員」に有益な知識でした。改めて教える立場のものの考え方を育てる重要性を感じた。研修会をやってもらいたい気持ちもあります。
カリキュラムの組み方や毎回の授業の方向性、狙いなど、どうやって設計されているのか具体化されていて、かなり勉強になった。3A4Cは法人部署でも活かせるし本学にはない思考風土で刺激を受けました！
知識・論理など勉強させていただきました。非常に多くのことが盛り込まれていたため、資料を見ながら確かめたいと思います。
話を聞きながら、自分自身も受けている授業にも、こんな意図があるんじゃないか、など色々な視点で観て、考えさせられました。とても面白かったです。
話題が盛りだくさんで良かった一方で、やや総花的な印象も受けました。
授業研究に精力的に取り組んでいるということで、大胆な実験ができていると考える。教師教育の松本先生の完成形に向かってこのまま突き進んでください。
変幻自在とも思える授業だが、当初のプログラム設計の柱をきちんと持って学生に学ぶことの重要性を伝えている点が参考になりました。
非常に興味深く面白かった
最後の方は何を話したかほとんど覚えていません

「満足した」回答群
それほど理論体系が重要でない科目においてのみ可能なのかということが課題のように思うが、学生がイキイキ学ぶ意味の方が大きいであろう。
作業、体験する学習は如何に大切分かりました。
専門的な知見に触れることができ、勉強になりました。
学生自身が実際に体験する授業は学生にとってとても有用だと思いました。しかしそれを自分の授業で実践するためにはまだいくつかの課題をクリアしなければならない気がします。
教育について専門的な知識をふまえつつ、わかりやすくお話いただき大変良かった。ただ、科目によるちがいも大きく、自身の授業運営に取り入れられるかいろいろ検討したい。
大変興味深いお話であり、新たな学びの観点が出来た。
協同学習は実践すること自体難しいですが、私は実践できると信じています。頑張ります。
非常に興味深く面白かった。ただ、自分の能力問題か、十分に理解出来なかった。ヒントになるものはたくさんあったと思う。
思いが詰め込まれていた。成長をどう計るか、到達点をどこにおくか、が課題となるかも。
消化しきれない点もあるが、自分が関心を持っている内容だったので非常に刺激になりました。



2.4. 「話題提供をふまえたグループワーク（キューブ）」について

「とても満足した」回答群

皆さんが自分の考えを、箱の工夫に結びつけながら話を聴いていたことが感じられた。方法や表現は違っても、目指すものはほぼ同じ、他者とのふれあいで自分を知り、成長させることかな、と。

学生と接する機会が皆無いため、的外れな意見となってしまって申し訳なかったです。「学生のために」と思いながら仕事をして、現場の先生方と協働できないのはやはり職員には「学生にどう意欲を持ってもらうか？」「どうしたら成長させられるか？」という視点の不足が原因だと痛感いたしました。

CUBEをつかったワーク初めてで、勉強になりました。

まず、難しかったなと感じました。おそらく一緒にグループワークをしていた先生方の共感ないし感嘆していたからかなと思います。大変勉強になりました。

一人ひとり興味を持った部分が異なり、他の方の話を聴くことでより理解が深まったと思います。

一般論ですが、グループワークではグループ分けのあり様が決定的に影響するので、所属大学・専門領域・性別といった事前情報から予めグループを決めておいても良かったのでは？

CUBEをつかって話題交流および松本先生の話をつなぐ方法は大変面白かった。これは普遍性の高いツールと考えるので活用したい。他の先生の話にも触発されることがあった。

違いはあるが、みんな同じことを異なる側面から探究していることがよく分かりました。

立場が違っていろいろな意見が聴けた。ありがとうございました。

CUBEが成功したようで良かったです。

「満足した」回答群

コンテキストが重要だという話と素朴理論に気づくことで良いのだと言うことが印象に残った。

作業・体験する学習は如何に大切かをわかりました。

取組としては興味深かったのですが、テーマについての理解が少し足らなかったと思います。

それぞれにいろいろとお考えのことがあり、自分とは異なる発想の意見にとっても感銘を受けた。

文・理双方の先生が参加しており、教育においてどの水準の専門的知識の習得を求めべきか考えさせられた。

学びのフィールドが自分にはないので(大学等で授業を持っているわけではないので)想像でしか話できず申し訳なかったです。

話し合いの場面では「学費」について話したことが印象です。

自由に話せた。立場の違い、役割の違いで協働できる、はず？

授業に対する考え方が近い先生方が多かった。自分のやり方で良いのだろうなという自身になった。

アプローチや手法には違いはあったが、グループ内の先生方がそれぞれ考えていることの方角性に大きな違いはないと思った。



2.5. 今後、教育サロンで聴いてみたい、話してみたいテーマなどはございますか？

フリーコメント
職員の方からの話題提供を聴いてみたい。本学だけの問題かもしれないが、教員との交流が少なく、何をお考えなのか分からない。
学ぶ意欲をいかに持たせるか？火をつけるか…
先生方の教員に対する思い(教職協働を実現するには？)
それぞれにいろいろとお考えのことがあり、自分とは異なる発想の意見にとっても感銘を受けた。
プロジェクトラーニングはどこまでが授業？教室外のイベントは？そのサポートはどこまで必要か？
大学で学ぶ意義についての突っ込んだ議論を。中・高の先生も大学の先生も「就職するのに有利だから」といったような効用でしか、大学の学びを説明できていないのではないかと思います。
A 大学のキャリアセンター改革の話もテーマの範囲に入れたら面白くなるのではと思った。
アクティブラーニングの色々な形について他大学・先生の事例をたくさん聴いてみたい。
本日のお話から、学びの環境づくりに興味を持ちました。
学力とは何か？ということです。